

# 2020年度 ねんど ぷくぷく基本方針と具体的な行動について きほんほうしん ぐたいてき こうどう

## 全体

私たちは「障がいのある人が本来もっている力を発揮できるようにする、しなければならぬ」を前提として行動し、あらゆる社会資源を最大限に活用しながら、地域社会にアプローチしつつ、利用者も支援者も同様に成長サイクルを意識します。

親亡き後の支援ということではなく「住み慣れた地域であたり前に自分らしく生きること」を前提とした理念をおし進め、利用者一人ひとりの取り巻く自立課題にむけて取り組む視点を持ち、本人を中心にした積極的な行動をします。

事業規模は維持し、真のニーズにこたえていけるように支援やケアの質の向上にむけて、日々全力をそそげるよう努めます。

## 具体的な行動方針

- 1) 利用者一人ひとりの取り巻く環境や状況を丁寧に把握し、自立課題を整理しながら取り組みます。例えば、日中の取り組みの中でも一人暮らしやグループホームでの暮らしのニーズをどういう視点を持ちながら支援やケアを提供しているか、体験や経験できる環境づくりをどれだけ意識しているでしょうか。
- 2) 大きな課題や実態としては、加齢に伴う支援やケア、軽微な医療的な技術を身につけ、早急に対応できるように準備していきます。
- 3) 日中の過ごし方やあり方は、一人ひとりのスタイルの違いに寄り添いながら組み立てます。少なくとも工賃に直結する収益については慎重に分配し、後期には工賃にかかわる仕組みについて再度議論を深めて、見直しをする予定でいます。
- 4) 日中作業所は、アート活動を通じて個々の表現や主張を保障します。社会参加という視点を持ちながら、定期的な取り組みを継続していきます。
- 5) 特に日中作業所の事業は、吹田市独自の加算補助減額廃止や新たな備品の買い替え時期も重なっており、報酬の収入減も重なるので、慎重な運営を迫られています。

6) この数年は、地域での住まいの確保が深刻になっており、ニーズが高まっている観点から、拠点整備が迫られています。今年度中には具体的な目途をつけられるように全力で取り組みます。

7) 引き続き、地域での防災・減災の取り組みとして、障がいのある人やその家族や関係機関等とも協力しあいながら準備しつつ、よりコミュニケーションを大切にした対策をすすめていきます。

8) 引き続き、職員の人材養成ならびに独自の法人内研修については、外部講師にも協力要請しながら定期的に取り組みます。また、今年度は産業カウンセラー導入により、これまで着手できていなかった労働安全衛生セミナー等を実施したりすることで、ふくふくとしてめざす働きやすい環境づくりの一步を踏み出します。

9) 引き続き、虐待再発防止について真剣に取り組みます。

10) いかなる事態も乗り越える為には、法人全体が一つになって取り組んでいけるようにしなければなりません。その風土を急務として位置づけ、各場や事業別だけでなく法人全体取り組みを意識します。

以上